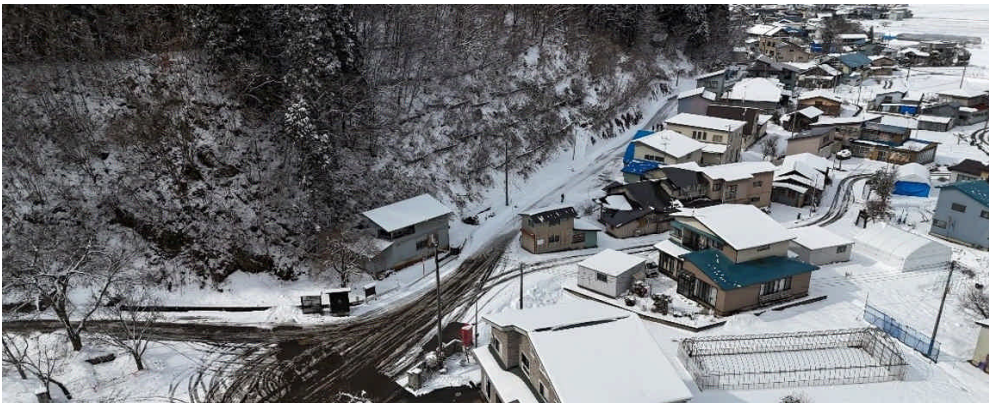


砂防ボランティア会報 VOL 1 4

令和6年3月15日 発行
特定非営利活動法人 秋田県砂防ボランティア協会



雪崩危険箇所合同点検
ドローンによる撮影

大館市 中野1号

【あいさつ】

理事長 小松 武

会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症も5類扱いとなり、本会の活動もコロナ禍以前に戻るかと期待していた矢先に、県内を襲った大雨により、秋田市を中心とした大規模な床上浸水被害が発生したほか、県北部の河川、道路をふくめて416ヶ所251億円の公共土木施設被害が発生しました。

このような状況にあり、会員の皆様には発災直後における災害サポートエンジニアとしての被災箇所の現地調査や会員が所属する企業および賛助会員の皆様においては災害査定に向けた業務を実施するなど、ご尽力いただきあらためて敬意を表します。

さて、本会の活動であります、大雨被害の調査や猛暑のなか、当初計画しました危険箇所パトロール、パネル展、急傾斜地崩壊防止施設点検など、これまで同様行政と一体となった活動を実施することができ、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、本年度土砂災害関連技術講習会においては、災害発生時における避難所運営の在り方について、避難所運営に幅広い経験と高い見識をお持ちの日赤秋田短期大学及川講師をお招きし、我々会員の活動に非常に有効なる講演をいただきました。今後とも技術力の向上と併せて防災意識を高めていきたいと思っております。

近年、毎年のように大雨による災害が発生している中で、初詣では災害の無い一年をお祈りした方もたくさんおられたと推察されますが、1月1日夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」では、地震に伴う強い揺れや液状化・地盤沈下、巨大な津波等の発生により家屋倒壊や人的被害、道路や上下水道などインフラ・ライフラインが寸断されたほか、土砂崩れや河道閉塞により、能登半島北部地域を中心に甚大な被害が発生しました。こうした土砂災害が発生した地域は、今後の降雨等により二次災害が発生するおそれが非常に高いことから、早期に安全対策が完了することを願っております。

今回の能登半島地震での出来事は、男鹿半島を有する本県には大いに検証すべきことがあるのではと思っております。秋田県砂防ボランティア協会においても、行政と一体となった活動を基本に技術力の研鑽と県民の安全・安心確保と福祉の増進に寄与できるよう努めてまいります。

最後になりますが、いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない他、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症も流行しており、会員・賛助会員の皆様には、ご健康に留意し益々のご活躍をご期待申し上げます。

I 令和5年度の協会の状況

○会 員 62名(令和6年2月末、内斜面判定士59名)

○協会の目的 この法人は秋田県民に対して、土砂災害から生命・財産を守るため、土砂災害防止に係わる活動を行い、県民の安全と福祉の増進並びに環境の保全に寄与することを目的とする。

○主な事業

- ・総 会 令和5年5月17日
- ・理事会 年4回
- ・防災知識の普及活動（土砂災害・防災訓練及び学習会 6地域振興局）
- ・土砂災害危険箇所合同点検（仙北地域振興局）
- ・業務委託（急傾斜地崩壊危険区域点検 鹿角地域振興局、雄勝地域振興局）
- ・土砂災害関連技術講習会 令和5年11月30日
- ・雪崩危険箇所合同点検（北秋田地域振興局、平鹿地域振興局）
- ・土砂災害防止の啓発キャンペーン（土砂災害防止パネル展）
- ・防災知識の啓発普及に関する活動（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・砂防ボランティア全国連絡協議会との連携

II 令和5年度の活動状況

1. 総 会

令和5年5月17日(水)「遊学舎」において通常総会を開催しました。

令和4年度の事業報告及び収支決算報告、令和5年度の事業計画(案)及び収支予算(案)が原案どおり承認可決されました。

また、役員改選が行われ、小松理事長のもとに新体制が始動しました。

・齊藤理事長あいさつ



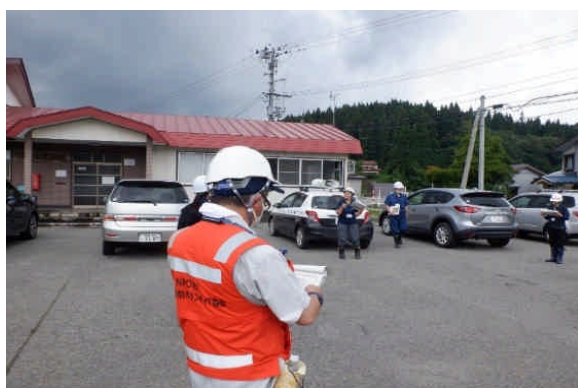
・小松新理事長挨拶ならびに新役員



2. 事 業

○土砂災害危険箇所合同パトロール(R5年8月1日:仙北管内)参加協会員2名

・仙北地域振興局管内3市町の砂防事業実施又は予定箇所 計13箇所



○土砂災害・防災訓練及び学習会

| 地域振興局名 | 実施個所名 | 参加人数 | 協会員 | 実施日 |
|----------|-------------|------|-----|----------|
| 北秋田地域振興局 | 北秋田市米内沢黒沢地区 | 105名 | 2名 | 6月1日(木) |
| 山本地域振興局 | 藤里町東坂地区 | 42名 | 2名 | 6月4日(日) |
| 由利地域振興局 | 由利本荘市松本地区 | 62名 | 2名 | 6月9日(金) |
| 仙北地域振興局 | 美郷町湯竹地区 | 51名 | 1名 | 6月4日(日) |
| 平鹿地域振興局 | 横手市大森町八沢木地区 | 92名 | 2名 | 6月4日(日) |
| 雄勝地域振興局 | 東成瀬村岩井川地区 | 111名 | 2名 | 6月27日(火) |
| 計 | | 463名 | 11名 | |

・北秋田市米内沢黒沢地区



・藤里町東坂地区



○土砂災害防止パネル展(R5年8月27日:秋田市「遊学舎」)参加協会員6名



○2地域振興局の急傾斜地崩壊防止施設点検業務委託の実施。

| 地域振興局名 | 調査位置 | 箇所数 | 協会員 | 現地調査期間 |
|---------|------------|------|-----|--------|
| 鹿角地域振興局 | 鹿角市十和田大湯 他 | 25箇所 | 16名 | 10月 |
| 雄勝地域振興局 | 湯沢市中ノ沢 他 | 25箇所 | 12名 | |
| 計 | | 50箇所 | 28名 | |



○雪崩危険箇所合同点検

| 地域振興局名 | 実施箇所 | 協会員 | 実施日 |
|----------|--------------------|-----|--------------|
| 北秋田地域振興局 | 北秋田市内2箇所、上小阿仁村内1箇所 | 3名 | 令和6年2月21日(水) |
| | 大館市内3箇所 | 3名 | 令和6年2月22日(木) |
| 平鹿地域振興局 | 横手市内8箇所 | 2名 | 令和6年2月15日(木) |
| 計 | 14箇所 | 8名 | |

・大館市中野1号地区
(雪崩柵破損状況)



・横手市櫛沢地区
(注意喚起状況)



○土砂災害関連技術講習会 (R5年11月30日:秋田市パーティギャラリーイヤタカ)
協会員及び賛助会員関係者44名参加

講習会概要

演題 1 「令和5年7月豪雨災害の概要と今後の治水対策について」

講師 秋田県建設部河川砂防課 流域防災監 今野 速太 氏

演題 2 「人道対応に関する最低基準に基づいた避難所づくり～住民参加型の避難所運営～」

講師 日本赤十字秋田短期大学 講師 及川 真一 氏

・今野 速太 氏

・及川 真一 氏



特定非営利活動法人 秋田県砂防ボランティア協会
〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170番地177 建設・工業技術センター内
TEL・FAX018-823-5055 E-mail akitasabovo@crux.ocn.ne.jp
URL <http://akita-sabovo.com/>

★★★★★ 当協会を支援していただいている企業(賛助会員) ★★★★★

奥山ボーリング(株)

共和コンクリート工業(株)

国際航業(株)

国土防災技術(株)

(株)さくら技研

(株)自然科学調査事務所

柴田工事調査(株)

(株)創研コンサルタント

(株)創和技術

東邦技術(株)

(株)ナカノアイシステム

(株)復建技術コンサルタント

(株)北陽技術コンサルタント 明治コンサルタント(株)

(五十音順)